

# 2021年度(2022年3月期) 第3四半期決算説明資料(IFRS)

IHI

2022年2月8日

株式会社 IHI



# 目次

1. 2021年度第3四半期 連結決算	
連結決算総括.....	4
連結決算の概要(連結受注高, 連結損益計算書).....	5
報告セグメント別内訳.....	6
金融損益等.....	11
連結財政状態計算書.....	12
連結キャッシュ・フロー計算書.....	13
補足資料.....	14
2. 2021年度 連結業績見通し	
通期業績見通し.....	17
業績回復ドライバーの進捗状況.....	18
報告セグメント別内訳.....	19
連結キャッシュ・フロー 通期見通し.....	22
期末配当見通しについて.....	23
3. 報告セグメント別の概況	
資源・エネルギー・環境.....	25
社会基盤・海洋.....	27
産業システム・汎用機械.....	29
航空・宇宙・防衛.....	31
<参考資料> .....	33

※ 各項目の金額は億円未満を切り捨てて表示している。

# 1. 2021年度第3四半期 連結決算

- 航空・宇宙・防衛は、新型コロナウイルス感染拡大の影響からの回復が継続。民間向け航空エンジンのスペアパーツの販売増加や採算改善、為替が円安に推移したことにより好転。第3四半期会計期間で黒字化。
- 航空・宇宙・防衛以外の3セグメントは、一部の事業において、原材料価格や輸送費の高騰、半導体不足やサプライチェーンの混乱の影響があるものの、引き続き堅調に推移。
- キャッシュ・コンバージョン・サイクル(CCC)改善活動の成果に加え、保有資産売却により、キャッシュ・フローが黒字化。

# 1. 2021年度第3四半期 連結決算 連結決算の概要(連結受注高, 連結損益計算書)

(億円)

	'20年度3Q 累計	'21年度3Q 累計	増 減
受 注 高	6,833	8,438	1,605
売 上 収 益	7,652	8,161	509
営 業 利 益	▲ 11	455	466
税引前四半期利益	▲ 72	477	550
親会社の所有者に 帰属する四半期利益	▲ 101	276	377

'20年度3Q累計: 日本基準からIFRSに組み替えた金額を記載。以下のスライドも同じ。

売上平均レート(米ドル) '20年度3Q累計 106.65円  
'21年度3Q累計 111.62円

# 1. 2021年度第3四半期 連結決算 報告セグメント別内訳(連結受注高・連結受注残高)

(億円)

	受注高			受注残高		
	'20年度3Q 累計	'21年度3Q 累計	増減	'20年度末	'21年度3Q末	増減
資源・エネルギー・環境	1,543	2,707	1,164	4,823	5,124	301
社会基盤・海洋	989	1,196	206	2,264	2,393	129
産業システム・汎用機械	2,531	2,727	196	1,753	1,736	▲16
航空・宇宙・防衛	1,655	1,703	47	2,485	2,376	▲109
報告セグメント計	6,719	8,334	1,615	11,326	11,630	303
その他	492	390	▲102	323	251	▲72
調整額	▲378	▲286	92	-	-	-
合計	6,833	8,438	1,605	11,650	11,882	231

海外受注高・受注残高	2,573	3,840	1,266	3,132	3,365	233
海外受注高・受注残高比率	38%	46%	8%	27%	28%	1%

# 1. 2021年度第3四半期 連結決算 報告セグメント別内訳(売上収益・営業利益)

IHI

(億円)  
(参考:試算値)

	売上収益			営業利益		
	'20年度3Q 累計	'21年度3Q 累計	増減	'20年度3Q 累計	'21年度3Q 累計	増減
資源・エネルギー・環境	2,241	2,427	186	112	122	10
社会基盤・海洋	1,039	1,117	78	101	52	▲49
産業システム・汎用機械	2,717	2,719	2	56	95	39
航空・宇宙・防衛	1,611	1,780	168	▲298	▲55	242
報告セグメント計	7,609	8,045	436	▲27	214	241
その他	344	424	80	18	38	20
調整額	▲300	▲308	▲7	▲1	202	204
合計	7,652	8,161	509	▲11	455	466

売上収益	営業利益
'19年度3Q累計	
2,205	▲14
999	77
2,869	58
2,453	125
8,528	246

海外売上収益	2,986	3,594	608
海外売上収益比率	39%	44%	5%

‘19年度3Q累計:日本基準をベースにIFRS値を試算した金額を記載。

# 1. 2021年度第3四半期 連結決算 報告セグメント別内訳(営業利益の前年同期比増減要因)

(億円)

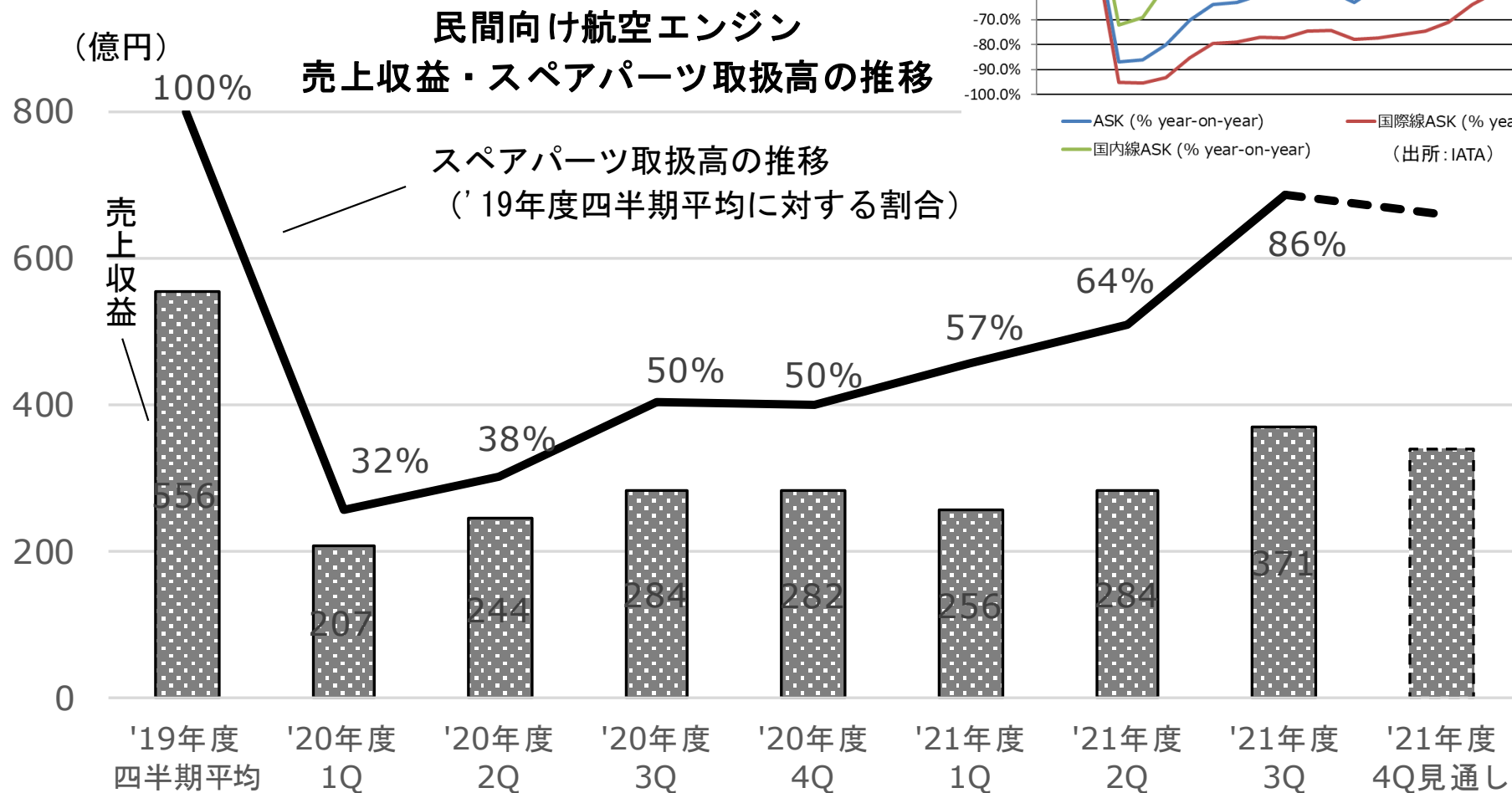
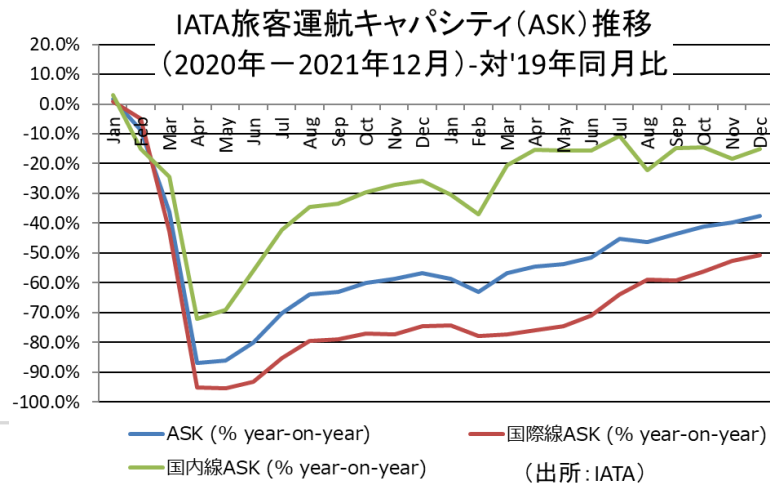
	売上収益の増減	工事採算の変動	為替の変動	販管費の変動	その他損益の増減	合計
資源・エネルギー・環境	▲ 10	10	5	▲ 6	11	10
社会基盤・海洋	▲ 8	▲ 6	1	▲ 9	▲ 27	▲ 49
産業システム・汎用機械	15	23	1	▲ 24	23	39
航空・宇宙・防衛	57	75	41	3	66	242
報告セグメント計	55	102	48	▲ 36	72	241
その他	19	13		▲ 6	▲ 5	20
調整額	▲ 2			▲ 44	250	204
合計	72	115	48	▲ 86	317	466

報告セグメント別・要因別の数値の合計と合計欄の数値は四捨五入の関係で一致しない場合がある。

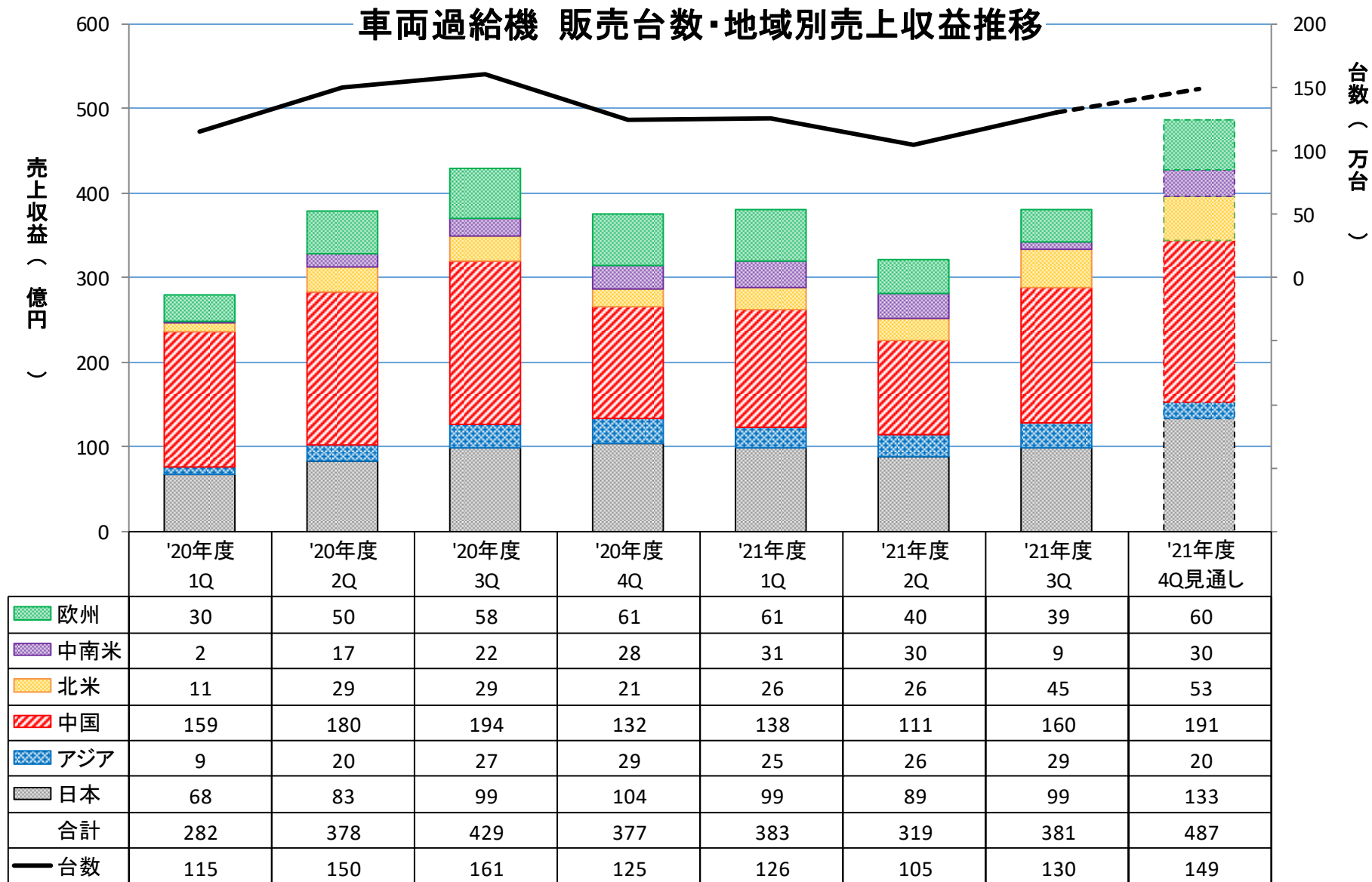


# 1. 2021年度第3四半期 連結決算 報告セグメント別内訳(民間向け航空エンジンの状況)

旅客運航需要は引き続き緩やかに回復しており、スペアパーツの取扱高も順調に回復。



# 1. 2021年度第3四半期 連結決算 報告セグメント別内訳(車両過給機の状況)



半導体不足やサプライチェーン混乱による自動車減産の影響から緩やかに回復。

# 1. 2021年度第3四半期 連結決算 金融損益等

(億円)

	'20年度3Q 累計	'21年度3Q 累計	増 減
為替差損益	▲ 33	32	66
持分法による投資損益	▲ 4	9	13
その他の金融損益	▲ 23	▲ 19	4
<b>金 融 損 益 等</b>	<b>▲ 61</b>	<b>22</b>	<b>83</b>

期末日レートの変動(米ドル) '20年度3Q累計 ▲5.36円 (期首108.83円→3Q末103.47円)  
'21年度3Q累計 +4.35円 (期首110.65円→3Q末115.00円)

# 1. 2021年度第3四半期 連結決算 連結財政状態計算書

(億円)

	'20年度末	'21年度3Q末	増減
<b>資産合計</b>	<b>18,328</b>	<b>18,208</b>	<b>▲ 120</b>
(うち 現金及び現金同等物)	(1,207)	(827)	(▲ 379)
(うち 営業債権, 契約資産)	(4,563)	(4,421)	(▲ 141)
(うち 棚卸資産)	(3,264)	(3,681)	(416)
<b>負債合計</b>	<b>15,051</b>	<b>14,667</b>	<b>▲ 383</b>
(うち 営業債務等)	(2,344)	(2,199)	(▲ 145)
(うち 契約負債)	(1,658)	(1,734)	(75)
(うち 有利子負債残高)	(6,059)	(5,759)	(▲ 300)
社債及び借入金	(4,631)	(4,410)	(▲ 221)
リース負債 (※1)	(1,428)	(1,349)	(▲ 79)
<b>資本合計</b>	<b>3,277</b>	<b>3,540</b>	<b>263</b>
親会社の所有者に帰属する持分	3,007	3,300	292
非支配持分	269	239	▲ 29
<b>負債・資本合計</b>	<b>18,328</b>	<b>18,208</b>	<b>▲ 120</b>
<b>D/Eレシオ (※2)</b>	<b>1.85倍</b>	<b>1.63倍</b>	<b>▲ 0.22倍</b>
<b>親会社所有者帰属持分比率 (※3)</b>	<b>16.4%</b>	<b>18.1%</b>	<b>1.7%</b>

(※1) 日本基準におけるオペレーティング・リース相当の負債('20年度末:1,119億円, '21年度3Q末:1,091億円)を含んでいる。

(※2) D/Eレシオ=有利子負債/資本合計 (※3) 親会社所有者帰属持分比率=親会社の所有者に帰属する持分/負債・資本合計

# 1. 2021年度第3四半期 連結決算 連結キャッシュ・フロー計算書

IHI

(億円)

	'20年度3Q 累計	'21年度3Q 累計	増 減
税引前四半期利益	▲ 72	477	550
減価償却費(※1)	525	500	▲ 24
運転資本増減(※2)	▲ 846	▲ 325	521
その他	▲ 295	(※3) ▲ 610	▲ 315
営業キャッシュ・フロー	▲ 689	42	732
投資キャッシュ・フロー	▲ 464	15	479
フリー・キャッシュ・フロー	▲ 1,154	57	1,212
財務キャッシュ・フロー	636	▲ 454	▲ 1,091

(※1) 減価償却費は、有形固定資産、投資不動産、使用権資産およびソフトウェアに係る金額を示しており、開発資産、特許権、その他の無形資産の償却費を含んでいない。

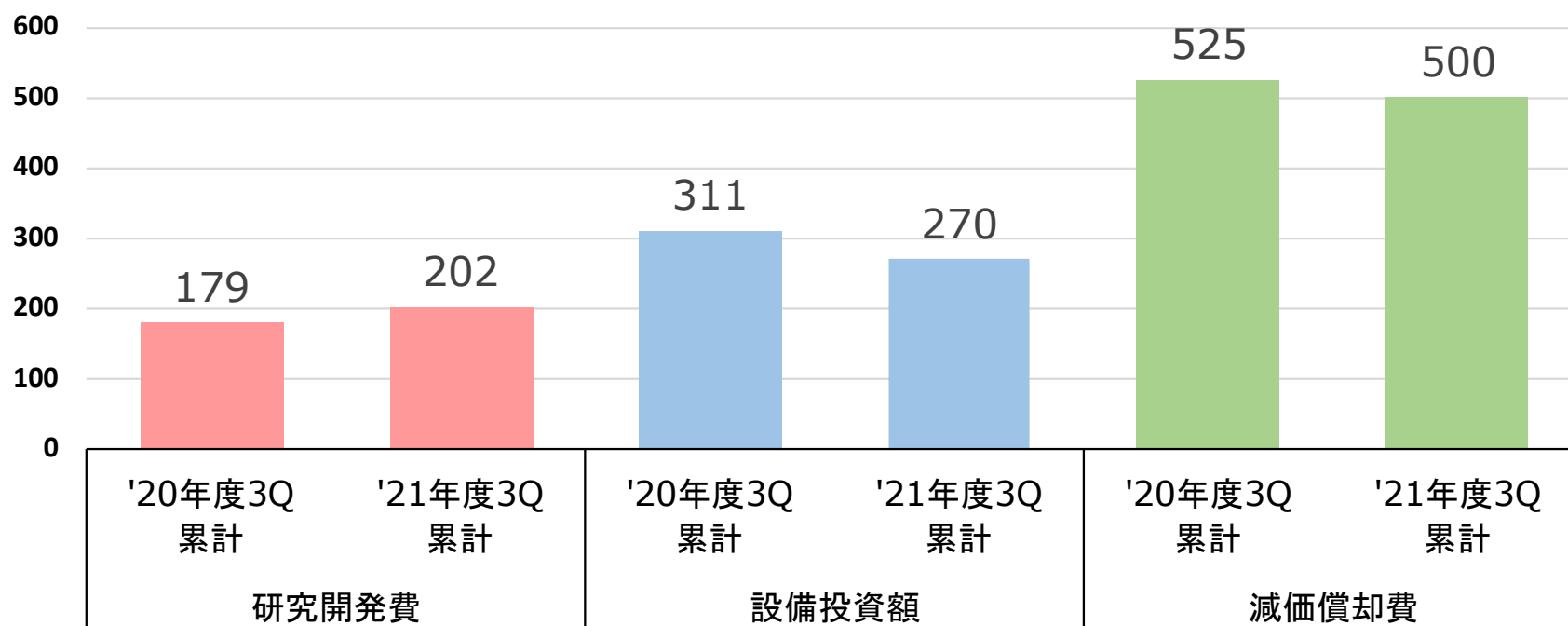
(※2) 運転資本増減は、営業債権/契約資産/棚卸資産/前払金/契約負債/営業債務/返金負債の増減額を示している。

運転資本 = 営業債権 + 契約資産 + 棚卸資産 + 前払金 - 契約負債 - 営業債務 - 返金負債

(※3) 保有資産売却益の投資キャッシュ・フローへの振替額を含む。

## (1) 研究開発費・設備投資額・減価償却費

(億円)



設備投資額，減価償却費は，有形固定資産，投資不動産，使用権資産およびソフトウェアに係る金額を示している。

(2) 地域別売上収益

(億円)

	'20年度3Q累計	'21年度3Q累計
日本	4,666	4,567
アジア	839	1,144
中国	757	665
北米	921	1,146
中南米	54	80
欧州	361	492
その他	52	65
合計	7,652	8,161

## 2. 2021年度 連結業績見通し



## 2. 2021年度 連結業績見通し 通期業績見通し

- 受注高は原子力で増加, 売上収益はカーボンソリューションや原子力で増収を見込む。
- 民間向け航空エンジンのスペアパーツ販売増加や為替の円安効果などにより増益。

前提為替レート 米ドル 105円  
(第4四半期)

(億円)

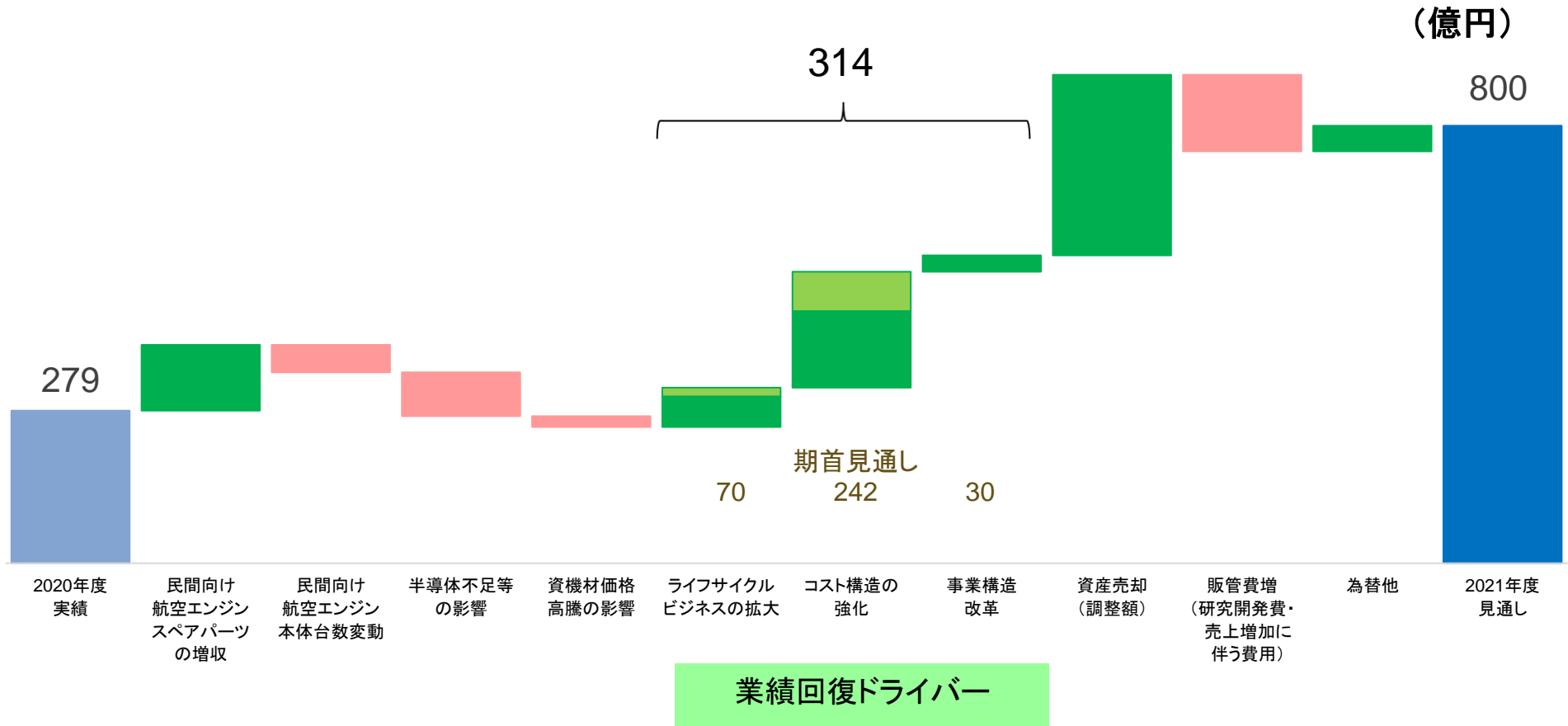
	'20年度実績	'21年度 前回見通しA (※1)	'21年度 今回見通しB	増 減 B-A
受 注 高	10,970	11,600	11,900	300
売 上 収 益	11,129	11,800	11,900	100
営 業 利 益	279	700	800	100
税引前当期利益	276	600	700	100
親会社の所有者に 帰属する当期利益	130	350	400	50

(参考) 為替感応度(為替相場の1円変動による, 営業利益への影響額): 米ドル 3億円

(※1) 前回見通しは, 2021年11月9日公表の業績予想数値。以下のスライドも同じ。

## 2. 2021年度 連結業績見通し 業績回復ドライバーの進捗状況

- 業績回復ドライバーの進捗は概ね順調。
- 民間向け航空エンジンは順調に回復しているが、一部の事業では外部環境悪化の影響あり。
- 資産売却は予定どおり実施。



## 2. 2021年度 連結業績見通し 報告セグメント別内訳(受注高 通期見通し)

(億円)

	'20年度実績	'21年度 前回見通しA	'21年度 今回見通しB	増減 B-A
資源・エネルギー・環境	2,747	3,100	3,400	300
社会基盤・海洋	1,661	1,600	1,600	0
産業システム・汎用機械	3,652	4,000	4,000	0
航空・宇宙・防衛	2,689	2,800	2,800	0
報告セグメント計	10,750	11,500	11,800	300
その他	707	600	600	0
調整額	▲487	▲500	▲500	0
合計	10,970	11,600	11,900	300

## 2. 2021年度 連結業績見通し 報告セグメント別内訳(売上収益・営業利益 通期見通し)

- 産業システム・汎用機械は、半導体不足やサプライチェーンの混乱による自動車生産調整からの回復が想定より緩やかであることに加え、採算改善の遅れにより減益を見込む。
- 航空・宇宙・防衛は、民間向け航空エンジンのスペアパーツの販売増加や為替が円安に推移したことにより増益(赤字縮小)を見込む。

(億円)

	売上収益				営業利益			
	'20年度実績	'21年度 前回見通しA	'21年度 今回見通しB	増減 B-A	'20年度実績	'21年度 前回見通しA	'21年度 今回見通しB	増減 B-A
資源・エネルギー・環境	3,176	3,400	3,500	100	191	230	230	0
社会基盤・海洋	1,579	1,700	1,700	0	171	160	150	▲10
産業システム・汎用機械	3,742	4,000	3,900	▲100	114	280	170	▲110
航空・宇宙・防衛	2,515	2,700	2,700	0	▲401	▲250	▲130	120
報告セグメント計	11,014	11,800	11,800	0	75	420	420	0
その他	605	600	600	0	23	30	30	0
調整額	▲490	▲600	▲500	100	180	250	350	100
合計	11,129	11,800	11,900	100	279	700	800	100

## 2. 2021年度 連結業績見通し

### 報告セグメント別内訳(前回見通しからの営業利益の増減要因)

(億円)

	売上収益の増減	工事採算の変動	為替の変動	販管費の変動	その他損益の増減	合計
資源・エネルギー・環境						0
社会基盤・海洋		▲ 10				▲ 10
産業システム・汎用機械	▲ 50	▲ 50		▲ 10		▲ 110
航空・宇宙・防衛	70	▲ 20	20	10	40	120
報告セグメント計	20	▲ 80	20	0	40	0
その他	10			▲ 10		0
調整額	▲ 10			10	100	100
合計	20	▲ 80	20	0	140	100

## 2. 2021年度 連結業績見通し 連結キャッシュ・フロー 通期見通し

- 営業キャッシュ・フローは、通期業績見通しの修正を織り込み。
- 投資キャッシュ・フローは、豊洲地区における開発を含め設備投資支出の後ろ倒しや資産売却収入の増加による。

(億円)

	'20年度実績	'21年度 前回見通しA	'21年度 今回見通しB	増減 B-A
税引前当期利益	276	600	700	100
減価償却費(※1)	698	640	640	0
運転資本増減(※2)	▲560	100	100	0
その他	▲50	▲740	(※3) ▲740	0
営業キャッシュ・フロー	363	600	700	100
投資キャッシュ・フロー	▲404	▲300	0	300
フリー・キャッシュ・フロー	▲41	300	700	400

(※1)減価償却費は、有形固定資産、投資不動産、使用権資産およびソフトウェアに係る金額を示しており、開発資産、特許権、その他の無形資産の償却費を含んでいない。

(※2)運転資本増減は、営業債権/契約資産/棚卸資産/前払金/契約負債/営業債務/返金負債の増減額を示している。

運転資本＝営業債権＋契約資産＋棚卸資産＋前払金－契約負債－営業債務－返金負債

(※3)保有資産売却益の投資キャッシュ・フローへの振替額を含む。

## 2. 2021年度 連結業績見通し 期末配当見通しについて

当社は、安定的に配当を実施することを基本としつつ、配当金額については、企業価値の向上のための投資と自己資本の充実・強化などを総合的に勘案したうえで、連結配当性向30%程度を目安として決定することとしています。

2021年度の期末配当金の予想については、当期の業績予想の利益水準を鑑み、増配とします。

### 1株当たり配当金

	'20年度実績	'21年度 前回見通しA	'21年度 今回見通しB	増減B-A
中間配当	0円	30円	30円	0円
期末配当	0円	30円	40円	10円
年間配当	0円	60円	70円	10円

### 3. 報告セグメント別の概況



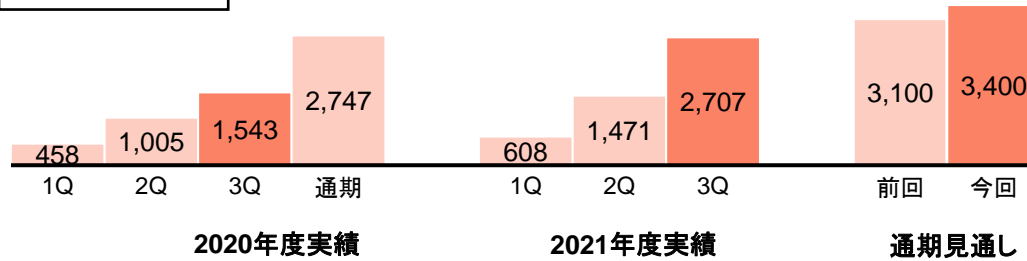
### 3. 報告セグメント別の概況 資源・エネルギー・環境

(億円/各期の金額は累計)

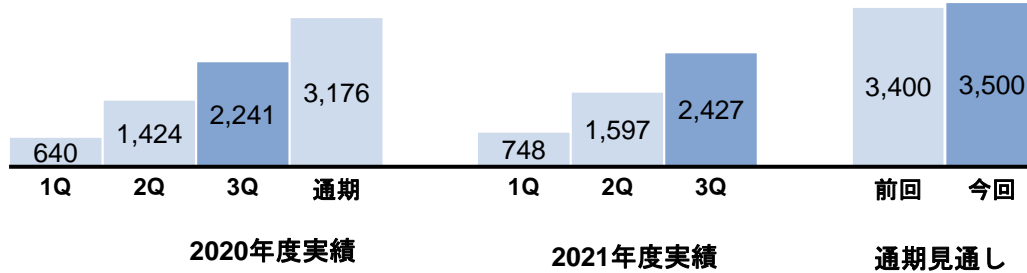
前回: 2021年11月9日公表の業績予想数値

主要事業: 原動機, カーボンソリューション, 原子力

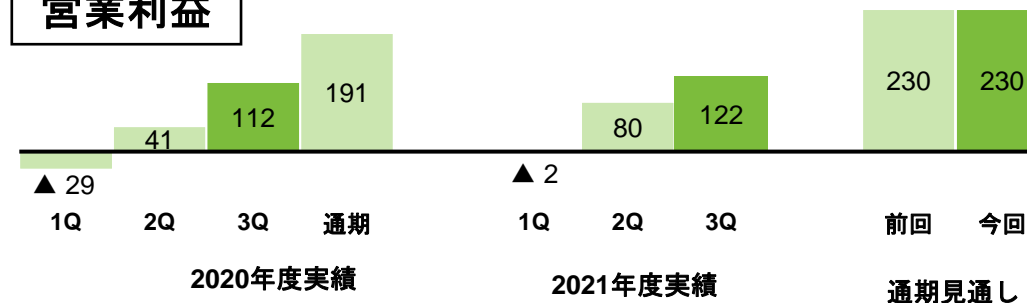
#### 受注高



#### 売上収益



#### 営業利益



#### 実績(対前年同期)

##### 【受注高】

カーボンソリューションや原子力, 原動機で増加。

##### 【売上収益】

原子力などで増収。

##### 【営業利益】

カーボンソリューションや原動機のライフサイクルビジネスの減少があるものの, 採算改善および原子力の増収により増益。

#### 通期見通し(対前回見通し)

- 受注高は, 原子力で増加。
- 売上収益は, カーボンソリューションの海外案件で工事が進捗したことや原子力の工事増等により増収。
- 上記の増収による増益はあるものの, 原動機での減益があるため営業利益は変更なし。

### 3. 報告セグメント別の概況 資源・エネルギー・環境

(億円)

	受注高								売上収益							
	'20年度				'21年度				'20年度				'21年度			
	1Q	2Q累計	3Q累計	通期	1Q	2Q累計	3Q累計	通期 (見通し)	1Q	2Q累計	3Q累計	通期	1Q	2Q累計	3Q累計	通期 (見通し)
原 動 機	190	352	505	719	255	414	604	810	188	383	611	871	186	384	610	890
カーボンソリューション(※)	135	273	466	1,199	154	622	1,156	1,580	330	787	1,192	1,594	352	764	1,129	1,580
原 子 力	91	153	272	426	104	269	584	690	45	100	181	327	60	163	280	480

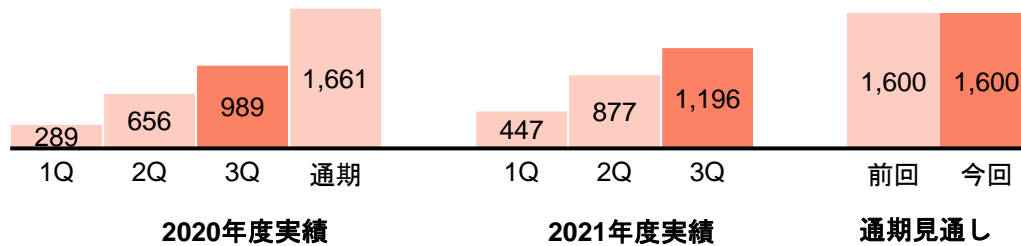
※2021年度のSBU再編に合わせて、2020年度の実績を組み替えています。

### 3. 報告セグメント別の概況 社会基盤・海洋

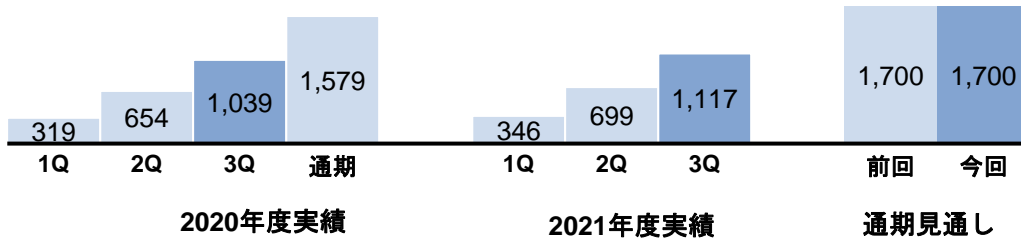
(億円/各期の金額は累計)

前回: 2021年11月9日公表の業績予想数値

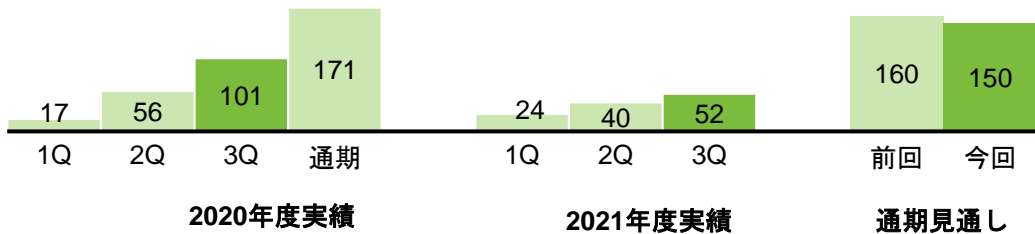
#### 受注高



#### 売上収益



#### 営業利益



主要事業: 橋梁・水門, シールドシステム, 都市開発,  
交通システム, コンクリート建材

#### 実績(対前年同期)

##### 【受注高】

橋梁・水門で増加。

##### 【売上収益】

都市開発で不動産販売が減少したものの、橋梁・水門やシールドシステムで増収。

##### 【営業利益】

不動産販売減少や橋梁・水門での鋼材価格や海上輸送費の高騰に加え、前年同期に資産売却益を計上した影響により減益。

#### 通期見通し(対前回見通し)

- 橋梁・水門で、海外工事が進捗したことによる減益。

### 3. 報告セグメント別の概況 社会基盤・海洋

(億円)

	受注高								売上収益							
	'20年度				'21年度				'20年度				'21年度			
	1Q	2Q累計	3Q累計	通期	1Q	2Q累計	3Q累計	通期 (見通し)	1Q	2Q累計	3Q累計	通期	1Q	2Q累計	3Q累計	通期 (見通し)
橋梁・水門	111	299	437	793	312	614	806	950	151	312	494	768	178	336	555	960
シールドシステム	47	73	96	217	12	44	86	190	35	91	123	194	58	120	175	230
都市開発	65	127	189	239	46	94	141	180	66	114	189	239	46	96	140	180

※「都市開発」の豊洲地区関連情報は、＜参考資料＞都市開発を参照。

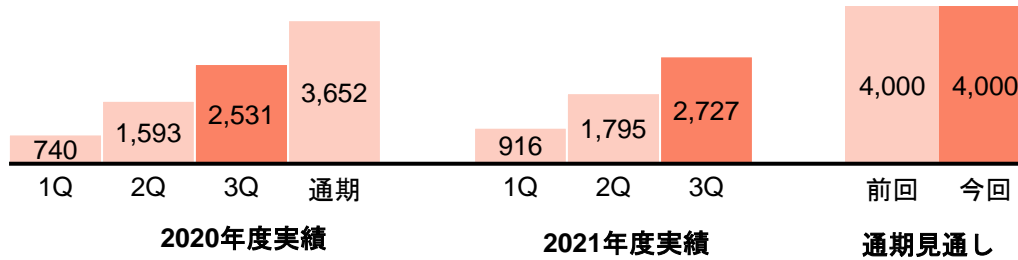
### 3. 報告セグメント別の概況 産業システム・汎用機械

(億円/各期の金額は累計)

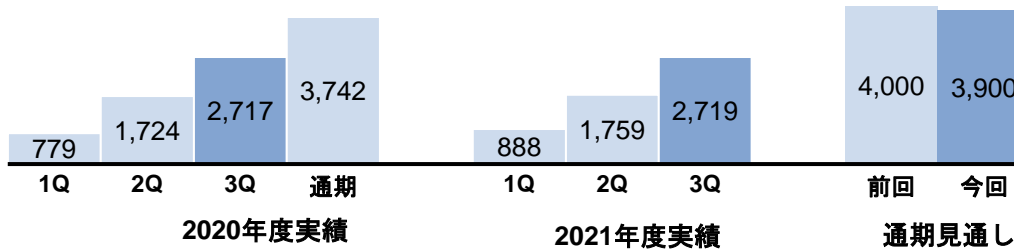
前回: 2021年11月9日公表の業績予想数値

主要事業: 車両過給機, パーキング, 回転機械,  
熱・表面処理, 運搬機械, 物流・産業システム

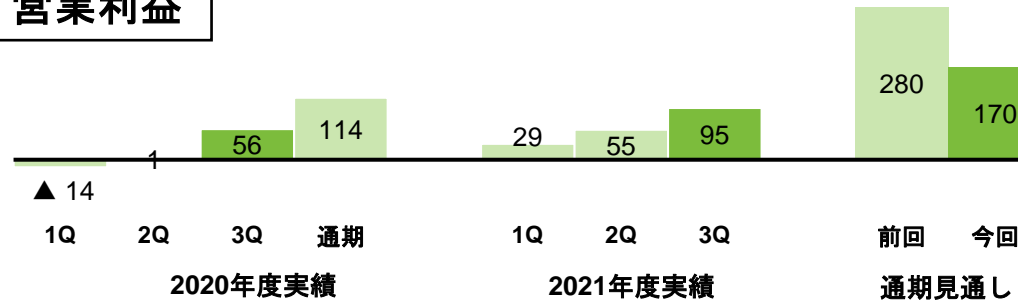
#### 受注高



#### 売上収益



#### 営業利益



#### 実績(対前年同期)

##### 【受注高】

熱・表面処理や回転機械で増加。

##### 【売上収益】

運搬機械やパーキングで減収となったものの、熱・表面処理や回転機械で増収。

##### 【営業利益】

増収および採算改善に加え、前年同期に農機事業で構造改革費用を計上した影響により増益。

#### 通期見通し(対前回見通し)

- 車両過給機で、半導体不足やサプライチェーンの混乱に伴う自動車減産からの回復が緩やかであることや採算改善の遅れにより減益。
- 物流・産業システムやパーキングで減収による減益。

### 3. 報告セグメント別の概況 産業システム・汎用機械

(億円)

	受注高								売上収益							
	'20年度				'21年度				'20年度				'21年度			
	1Q	2Q累計	3Q累計	通期	1Q	2Q累計	3Q累計	通期 (見通し)	1Q	2Q累計	3Q累計	通期	1Q	2Q累計	3Q累計	通期 (見通し)
車両過給機	283	662	1,089	1,469	386	714	1,100	1,570	282	660	1,089	1,466	383	702	1,083	1,570
パーキング	102	218	342	502	106	229	333	520	93	205	335	460	91	196	319	480
回転機械	120	232	335	466	136	267	391	540	103	230	360	497	119	237	376	530
熱・表面処理	56	118	193	298	107	209	326	410	67	137	214	304	87	186	285	410
運搬機械	49	83	121	296	41	97	135	250	102	197	291	400	73	164	242	340

※「車両過給機」の詳細は、＜参考資料＞車両過給機を参照。

#### ＜車両過給機の販売台数＞

(万台)

販売年度	3Q累計	通期
2020年度	426	551
2021年度	361	510

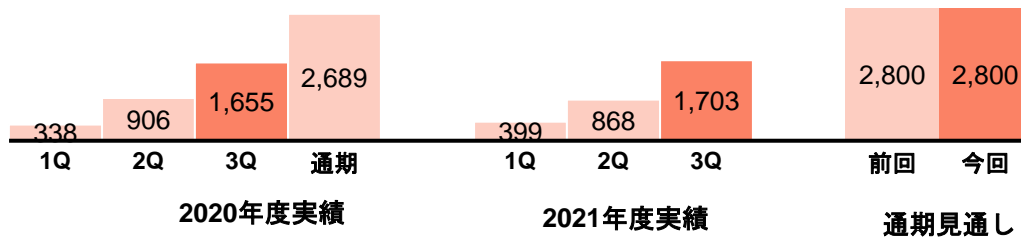
### 3. 報告セグメント別の概況 航空・宇宙・防衛

(億円/各期の金額は累計)

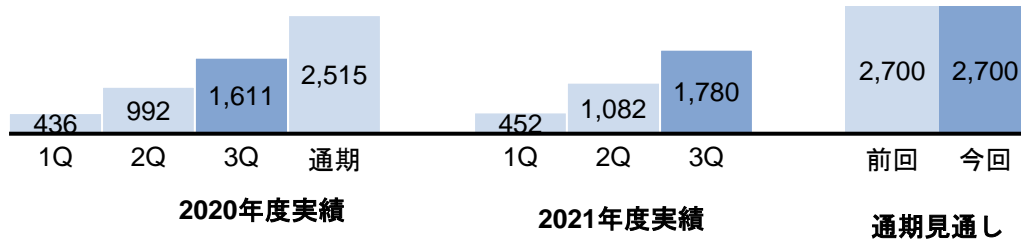
前回: 2021年11月9日公表の業績予想数値

主要事業: 航空エンジン、ロケットシステム・宇宙利用  
防衛機器システム

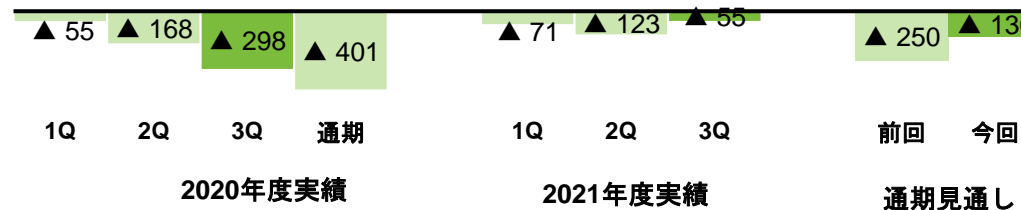
#### 受注高



#### 売上収益



#### 営業利益



#### 実績(対前年同期)

##### 【受注高】

民間向け航空エンジンで増加。

##### 【売上収益】

民間向け航空エンジンで、本体・スペアパーツの販売が増加したことに加え、ロケットシステム・宇宙利用で増収。

##### 【営業利益】

民間向け航空エンジンでの、スペアパーツの販売増加やコスト構造強化による採算改善に加え、為替が円安に推移したことにより、赤字幅が縮小。

#### 通期見通し(対前回見通し)

■ 民間向け航空エンジンで、初期負担の重い新製エンジン本体の販売が当初の見込みよりも減少する一方で、スペアパーツの増加、為替の第3四半期までの実績を反映し増益。

### 3. 報告セグメント別の概況 航空・宇宙・防衛

(億円)

	受注高								売上収益							
	'20年度				'21年度				'20年度				'21年度			
	1Q	2Q累計	3Q累計	通期	1Q	2Q累計	3Q累計	通期 (見通し)	1Q	2Q累計	3Q累計	通期	1Q	2Q累計	3Q累計	通期 (見通し)
民間向け 航空エンジン	215	443	724	1,008	257	535	899	1,250	207	451	735	1,017	256	540	911	1,250

※「民間向け航空エンジン」の詳細は、＜参考資料＞航空エンジンを参照

＜民間向け航空エンジンの販売台数＞

(台)

販売年度	3Q累計	通期
2020年度	646	842
2021年度	648	844



## < 参考資料 >

- ・当第3四半期のトピックス
- ・主要な経営指標の推移
- ・航空エンジン
- ・車両過給機
- ・都市開発

## イプシロンロケット5号機の打ち上げ成功 9基の人工衛星を正常に分離



グループ会社である株式会社IHIエアロスペースが機体システムの開発・製造を担当した、宇宙航空研究開発機構 (JAXA) のイプシロンロケット5号機が、2021年11月9日に打ち上げられました。革新的衛星技術実証プログラムとして選定された小型実証衛星2号機をはじめとする計9基の人工衛星を正常に分離したことが確認されました。

イプシロンロケット試験機から5機連続の成功、また、複数衛星同時打上の2度目の成功となりました。

<イプシロンロケット5号機打上げ(左図)©JAXA>

## 機械式駐車装置の省電力・EV全台充電システムを販売開始～EV用電源容量を従来の1/8で実現※

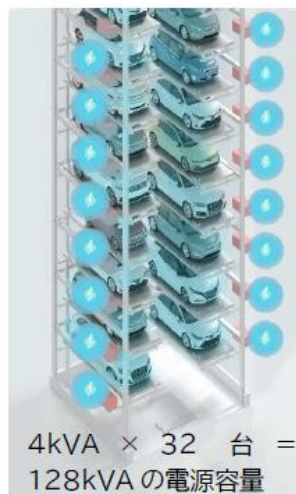
グループ会社であるIHI運搬機械株式会社は、機械式駐車装置において、省電力で、全ての電気自動車(以下「EV」)への充電を可能とする新システムの販売を2022年4月より開始します。

これまでも機械式駐車装置において、複数のEVを充電することができました。しかし、新設時に全台充電対応する場合には、EV充電台数分の膨大な電源容量を必要としていました。

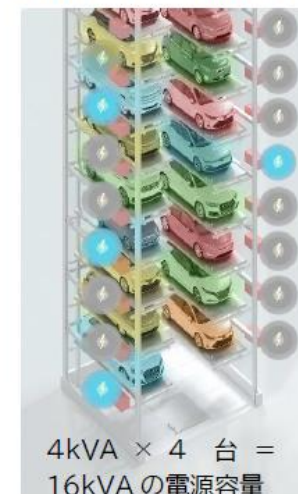
これらの課題を解決するため、EVを順番に充電する「省電力・EV全台充電システム」を開発しました。

※ IHI運搬機械株式会社のシミュレーションに基づく。実際の環境により最適な電源容量は変動します。

従来



省電力・EV 全台充電システム



EV用電源容量を従来の1/8で実現※

- 青色 : 充電中
- 緑色 : 充電待機中 (一次)
- 赤色 : 充電待機中 (二次)
- 黄色 : 充電待機中 (三次)
- 肌色 : 充電待機中 (四次)

<機械式駐車装置 充電時使用電力イメージ>

## 「IHI ESG STORYBOOK」を公開 ～「自然と技術が調和する社会を創る」～



「IHIグループESG経営」(2021年11月に発表)の詳細を「IHI ESG STORYBOOK」にまとめ、2021年12月に公開しました。

本書は、持続可能な社会と企業としての持続的な成長の実現に向けて、当社グループが考えるESG経営について示したものです。将来のありたい姿、カーボンニュートラルや防災・減災の実現のために必要な技術や取組み、また、そのために重要と考える人権の尊重や多様な人材の活躍についての考え方や取組みなどを紹介しています。

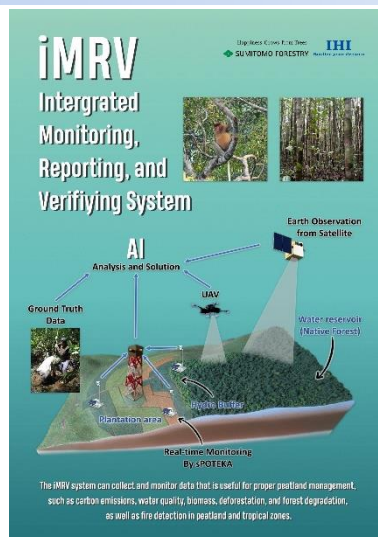
<IHI ESG STORYBOOK> PDFファイルのダウンロード(4.6MB)  
URL: [https://www.ihico.jp/csr/esg/i/IHI\\_ESG\\_STORYBOOK.pdf](https://www.ihico.jp/csr/esg/i/IHI_ESG_STORYBOOK.pdf)

## 「COP26」出展 住友林業と気候変動対策への取組みを世界に発信

住友林業株式会社とIHIは熱帯泥炭地を適切に管理するコンサルティング事業の実現に向けて協業しております。

英グラスゴーで開催された「第26回気候変動枠組条約締約国会議(COP26)」の「ジャパン・パビリオン」に共同出展し、ブース展示および経済産業省主催の特別セミナーに登壇し、気候変動対策への取組みや技術についてご紹介しました。

今後も森林火災や泥炭地消失による二酸化炭素排出の削減に向けて取組んでまいります。



# 主要な経営指標の推移

	日本基準			
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
受注高	13,898億円	15,050億円	13,992億円	13,739億円
売上収益	14,683億円	15,903億円	14,834億円	13,865億円
営業利益	473億円	722億円	824億円	607億円
親会社の所有者に帰属する当期利益	52億円	82億円	398億円	128億円
営業CF	653億円	990億円	464億円	145億円
投資CF	▲ 289億円	▲ 479億円	▲ 792億円	▲ 758億円
FCF	364億円	510億円	▲ 328億円	▲ 613億円
配当	0円/株	中間3円/株 期末30円/株 (期末は、株 式併合後)	70円/株 (中間30円、 期末40円)	50円/株 (中間30円、 期末20円)
ROIC	5.0%	7.7%	8.7%	5.7%
営業利益率	3.2%	4.5%	5.6%	4.4%
CCC	87日	83日	97日	120日
D/Eレシオ	1.10倍	0.92倍	0.93倍	1.38倍
ROE	1.6%	2.6%	11.8%	3.8%
親会社所有者帰属 持分比率	18.8%	19.9%	21.0%	18.7%

IFRS			
2019年度	2020年度	2021年度3Q 累計	2021年度 (見通し)
12,800億円	10,970億円	8,438億円	11,900億円
12,631億円	11,129億円	8,161億円	11,900億円
478億円	279億円	455億円	800億円
82億円	130億円	276億円	400億円
424億円	363億円	42億円	700億円
▲ 855億円	▲ 404億円	15億円	0億円
▲ 430億円	▲ 41億円	57億円	700億円
50円/株 (中間30円、 期末20円)	0円/株	中間30円/株	70円/株 (中間30円、 期末40円)
4.1%	2.2%	-	6.5%
3.8%	2.5%	5.6%	6.7%
92日	124日	-	110日
2.00倍	1.85倍	1.63倍	1.40倍
2.8%	4.5%	-	12.6%
15.0%	16.4%	18.1%	

ROIC: (営業利益+受取利息・配当金)税引後 / (親会社の所有者に帰属する持分+有利子負債)

CCC: 運転資本 / 売上収益 × 365日

D/Eレシオ: 有利子負債 / 資本合計

ROE: 親会社の所有者に帰属する当期利益 / 親会社の所有者に帰属する持分

親会社所有者帰属持分比率: 親会社の所有者に帰属する持分 / 負債・資本合計

## 売上収益・機種別累計販売台数推移

	日本基準								IFRS			主要搭載機
	'11	'12	'13	'14	'15	'16	'17	'18	'19	'20	'21年度 3Q	
売上収益(億円)	1,436	1,698	2,260	2,670	2,991	2,915	2,810	3,185	2,224	1,017	911	
累計販売台数(台)												
V2500	4,980	5,468	5,969	6,469	6,896	7,236	7,508	7,688	7,735	7,740	7,753	エアバス A319/320/321
GE90	1,399	1,589	1,806	2,039	2,257	2,457	2,617	2,715	2,824	2,885	2,913	ボーイング B777
CF34	3,242	3,548	3,820	4,156	4,471	4,821	5,085	5,331	5,611	5,798	5,908	リージョナルジェット (70~110席級)
GEEx	118	259	468	751	1,035	1,295	1,542	1,826	2,159	2,328	2,411	ボーイング B787/B747-8
PW1100G					16	148	398	1,058	1,784	2,144	2,506	エアバス A320Neo
Passport20							13	66	142	202	254	ボンバルディア社 Global7500
合計	9,739	10,864	12,063	13,415	14,675	15,957	17,163	18,684	20,255	21,097	21,745	

※販売台数は、機体メーカーに引き渡した台数であり、工場出荷台数とは異なる。

## 地域別売上収益推移

(億円)

	実績										見通し	
	日本基準					IFRS					'21年度	
	'12	'13	'14	'15	'16	'17	'18	'19	'20	3Q累計	通期	
日本	339	353	375	346	389	398	446	391	354	287	420	
アジア	248	298	275	216	158	117	110	107	85	80	100	
中国	181	234	243	249	485	719	631	572	665	409	600	
北米	13	16	18	24	33	84	116	108	90	97	150	
中南米	0	0	7	34	61	74	75	66	69	70	100	
欧州	432	602	756	743	617	811	513	289	199	140	200	
その他	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	
合計	1,216	1,507	1,677	1,616	1,746	2,205	1,895	1,536	1,466	1,083	1,570	

## (1) 豊洲地区 賃貸収入の実績推移

(億円)

	実績										見通し	
	'12	'13	'14	'15	'16	'17	'18	'19	'20年度		'21年度	
									3Q累計	通期	3Q累計	通期
賃貸収入	92	91	93	101	93	92	93	94	92	123	91	120

## (2) 豊洲地区 賃貸収入, 賃貸費用実績(当期)

(億円)

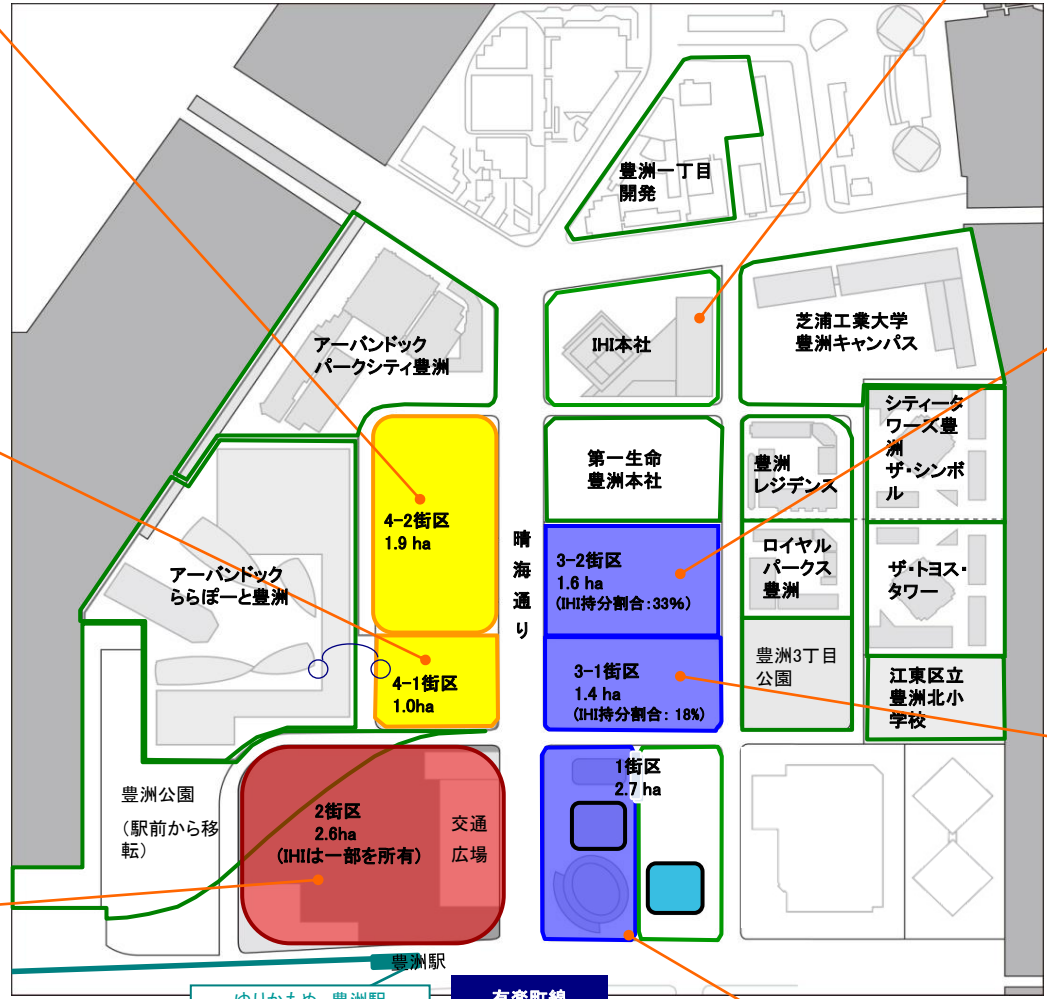
	賃貸収入	賃貸費用		差額
		減価償却費	その他	
'21年度3Q	91	39	30	21

# 豊洲1~3丁目地区 開発マップ

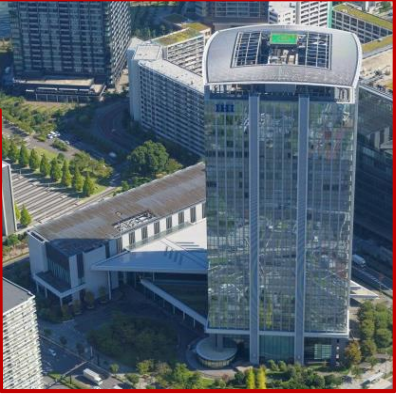
**豊洲4-2街区開発計画**  
敷地面積: 19,493㎡  
2022年夏着工～2025年夏竣工予定

**アーバンドック ららぽーと豊洲ANNEX (三井不動産)**  
地上5F, 高さ約25m, 延床面積: 24,721㎡  
2006年10月開業

**豊洲ベイスайдクロスタワー(AC棟) (IHI, 三井不動産)**  
地上36F, 高さ178m, 延床面積約185,000㎡  
2020年3月竣工



**豊洲IHIビル**  
地上25F, 高さ: 約125m, 延床面積: 97,617㎡  
2006年2月竣工



**豊洲フォレシア (IHI, 三菱地所(SPC))**  
地上16F, 高さ: 約75m, 延床面積: 101,503㎡  
2014年7月竣工



**豊洲フロント (IHI, 三菱地所(SPC), 三菱UFJ信託銀行)**  
地上15F, 高さ: 約75m, 延床面積: 106,861㎡  
2010年8月竣工

**豊洲センタービル**  
地上37F, 高さ: 約165m, 延床面積: 100,069㎡  
1992年10月竣工

**豊洲センタービルアネックス**  
地上33F, 高さ: 約150m, 延床面積: 105,448㎡  
2006年8月竣工



IHI所有地	約5ha
--------	------

- 建物賃貸
- 土地賃貸
- 建物賃貸(借地)
- 第一種市街地再開発事業 ※1
- 売却・寄付・交換済

※1 都市再開発法で定める手法の一つ



# IHI

Realize your dreams

本資料のうち、業績見通し等に記載されている将来の数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、リスクや不確実性を含んでいます。従いまして、これらの業績見通しのみにより投資判断を下すことは控えるようお願いいたします。実際に業績は、様々な重要な要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知置きください。実際の業績に与える重要な要素には、当社の事業領域を取り巻く政治、経済情勢、対ドルをはじめとする円の為替レートなどがあります。